

一般財団法人 エンジニアリング協会

石油開発環境安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL(03)5405-7205/FAX(03)5405-8201

URL: <http://www.ena.or.jp/SEC/>

- 委員会・部会報告
 - ・ 第 2 回企画委員会
 - ・ 第 4 回企画技術部会
- JKA 競輪補助事業
「シェールガス開発に係る環境影響の調査検討」
- 平成 26 年度重点事業について
- 平成 26 年度事務局体制について
- 会員の広場
 - ・ JOGMEC 主催：技術動向調査報告会
参加報告
- 会員の皆様へのお知らせ
 - ・ ENAA 研究成果発表会 2014 のお知らせ
(予告)

■委員会・部会 報告■

□ 平成 25 年度第 2 回企画委員会

日時：3 月 13 日(木) 15:30~17:15

議事：

上田事務局長の挨拶に続き、経済産業省吉野鉱山・火薬類監理官からご来賓の挨拶を頂いた。議事(1)~(4)について事務局より報告がなされ、そのうち議事(3)~(4)について審議がなされた。

(1) 平成 25 年度企画技術部会活動概要と平成 26 年度活動計画 【報告】

- ①「SEC テーマ検討分科会」
- ②「資源分科会」
- ③「エネルギー分科会」

(2) 平成 25 年度受託事業・補助事業活動概要および平成 26 年度事業実行計画 【報告】

- ①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究
(H25 年度事業概要、H26 年度事業実行計画)
- ②シェールガス開発に係る環境影響調査検討 (H25 年度事業報告) (JKA 競輪補助事業)
- ③大水深海底鉱山保安対策調査(H25 年度事業概要、H26 年度事業実行計画)

(3) 平成 26 年度事業計画(案)および体制 (案) 【審議項目 1】

(4) 平成 25 年度決算見込および平成 26 年度予算 (案) 【審議項目 2】

- ・ 審議項目 1 は本委員会で提案通り承認された。
- ・ 審議項目 2 は本委員会で提案通り承認された。なお、以下の質問があり回答について委員会として了承された。

【質問】収入に挙げられている公募を受託する手段はあるのか。

【回答】メタハイ事業は継続提案案件であるため、受託を目指し過去の実績を生かした提

案書を作成中である。大水深は2年目であるため、応対する事業者は限られてくると推察しているが、複数社の競札となった場合、人件費を削減してでも必ず受託できるように対応していきたい。

□ 平成 25 年度第 4 回企画技術部会

日時：2月28日(金) 10:00～12:00

議事

山田所長の挨拶ののち福島部会長の議事進行により(1)～(5)の報告事項、審議事項の説明が各責任者よりなされた。そのうち(2)、(3)、(4)については審議された。

(1)平成25年度SEC実施事業および平成26年度SEC計画事業について 【報告】

1) 受託事業、補助事業活動報告

①メタンハイドレート開発に係わる海洋生態系への影響評価のための基礎研究(継)

②大水深海底鉱山保安対策調査(継)

③シェールガス開発に係わる環境影響調査検討(JKA競輪補助事業)

(2)平成26年度SEC事業計画(案)について 【審議】

(3)平成26年度SEC予算(案)について 【審議】

(4)平成26年度SEC分科会活動について 【審議】

(5)JKA競輪補助事業評価について報告 【報告】

1)平成24年度実施「地熱発電の技術・環境課題の調査研究」

2)平成25年度実施「シェールガス開発に係わる環境影響調査検討」

■ JKA競輪補助事業「シェールガス開発に係る環境影響の調査検討」 ■

この事業は競輪の補助を受けて実施しています

当センターは平成25年度、JKA競輪補助事業の「シェールガス開発に係る環境影響の調査検討」事業を実施しました。

本事業は、学識経験者を中心とした委員会と、賛助会員を中心にした分科会という体制で実施し、経済産業省からもオブザーバーとして参加頂きました。平成25年6月28日の第1回委員会・第1回分科会から平成26年3月3日の第3回委員会・第9回分科会まで、委員会で方向付けをし、分科会で実質的な調査研究を行うという形で活動を進めてきました。特に分科会においてはSEC賛助会員だけでなく本部賛助会員の水処理関係会社からも、ご協力いただきました。本年3月末で成果報告書が完成し、本調査研究を無事終了する事ができました。委員会委員、分科会委員および関係各位のご尽力に深く感謝いたします。

本年度の調査において、地下水汚染や誘発地震といったシェールガス開発に伴う環境影響問題の概要については把握できたと思います。本報告書においては一般的なシェールガス・オイルの開発方法から、環境問題に至るまで幅広く取り上げており、シェールガス・オイルに関心のある方にとって、非常に参考になるものができるかと自負しております。今後、調査研究成果を普及展開してまいります。資料をご希望の方には送付させていただきますので、ご連絡ください。

■平成26年度SECの重点事業について ■

- 1) 受託事業メタンハイドレート開発環境影響評価事業、大水深海底鉱山保安対策事業の実施
- 2) テーマ検討会、資源、エネルギー、環境分科会活動等、事業獲得に向けた自主活動の活性化
- 3) 技術部、海洋開発室、地下センターと連携し、ENAA横断プロジェクトの創出

■平成26年度SECの事務局体制について ■

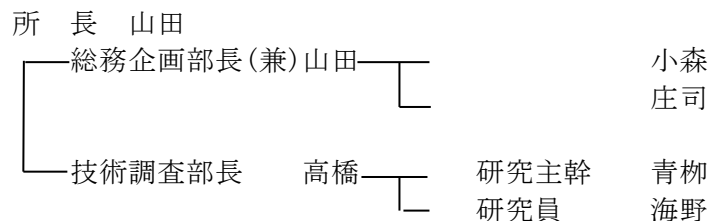
4月1日付けでSECメンバーの異動がありました。

新たな体制の下でエンジニアリング産業の発展のために努力してまいりますので、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1. 新任
研究員 海野圭祐 (株)日本海洋生物研究所から
2. 退任
主任研究員 平田敦洋 (株)日本海洋生物研究所へ復職
研究主幹 百田博宣 地下開発利用研究センターへ異動

《体制図》

石油開発環境安全センター



■事務局内異動■

□退任の挨拶

・平田 敦洋

平成22年4月から平成26年3月までの4年間お世話になりました。私は主にメタンハイドレート開発の環境影響評価関連に従事してまいりました。在籍中は様々な面で皆様から御指導・御助力を賜ったこと、心よりお礼申し上げます。協会で得た貴重な経験は大切な財産として、今後に活かしていきたいと思っております。最後になりますが、今後ともSECをご支援戴けるよう宜しくお願い申し上げます。

□新任の挨拶

・海野圭祐

(株)日本海洋生物研究所より出向してまいりました、海野圭祐と申します。出向元では海域植物プランクトン分析を中心に水域の環境調査を行っていました。大学では沈降粒子を再利用するプランクトンについて研究していました。若輩者ではございますが、皆様からご指導ご鞭撻をいただき、SEC業務に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

□事務局異動の挨拶

・百田博宣

突然ですが、本年4月1日付で、石油開発環境安全センター（SEC）より地下開発利用研究センター（GEC）に異動となりました。SECには、前職の清水建設㈱より平成24年5月に着任しましたので、1年11か月の在職でしたが、「地熱発電の技術・環境課題」や「メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価」など、前職ではほとんど経験のない環境影響評価関係の業務に従事でき、大変勉強になりました。GECでは、地下開発全般の技術開発やプロジェクト推進を担当しますが、SEC在任中と同様、宜しくお申し上げます。

■会員の広場■（参加した講演会、学会、シンポジウム等）

【JOGMEC主催：技術動向調査報告会 参加報告】

JOGMEC主催の「シェールオイルの探鉱・開発技術に関する最新技術動向調査報告会」に参加してまいりましたので、以下にその内容を報告いたします。

日付： 2014年 3月 19日（水）

場所： JOGMEC TRC 大講堂

報告者はARI社（Advanced Resources International）といい、2011年、2013年のシェールオイルポテンシャル評価をEIA(US Energy Information Administration:米国エネルギー情報局)から受託してまとめている米国のコンサルタント会社である。今回の報告の中で、主に環境に関する分野の内容を以下にまとめる。

- ・ シェールガスの開発は、ガス価の低迷によりシェールオイル開発に移行してきている。
- ・ シェールオイル輸送のためのインフラは、パイプラインよりも貨車輸送の方がフレキシブルであり、利用が増えているが、事故も増加している。
- ・ 交通量増加による騒音や、粉じんの問題も起きている。
- ・ ガスのフレアも増加している。
- ・ サイスマチックモニタリングの結果から、フラックはシェール層にとどまっている事が確認できている。
- ・ 50000のシェール坑井で、地下水への影響が無い事が証明されている。
- ・ シェール層に対するフラクチャリングによる小地震が、唯一、英国で確認されている。USAでの小地震はフラクチャリングによるものではなく、圧入井への圧入によるものである。

シェールガス・オイル開発に関しては、今後も引き続き情報を収集し、皆様にお知らせしていく予定です。

(記：高橋 康夫)

■ 会員の皆様へのお知らせ ■

□ ENAA 研究成果発表会 2014 のお知らせ (予告)

ENAA 研究成果発表会 2014 を7月3日(木) ENAA本部、4日(金)石油センター/地下センターで2日間を予定しております。詳細は決定次第HPに掲載致します。